



箕輪 高一郎さん
市商工会会長
「この時代において、いかに地域社会に貢献できるのか、会員の結束と英知を結集していきたいです」

型クルーズ客船の実況中継で次々に患者が搬送される、そんな光景を思い出します。市と緊密な連携のもと、自治組織連合会として当分の間、各事業が中止となりました。特に、2年をかけて準備してきた「オールふじみ野スポーツフェスティバル」の開催が延期になったことは大きなことでした。

から、今年度上半期分の全会員の会費を減額し、財源不足は財政調整基金を充当することとしました。こうした中で、高畑市長の号令の下に行政と商工会が連携し、国の持続化給付金などの申請サポートセンターの開設やプレミアム付商品券事業をはじめとする経済対策をパッケージとして実施いただいたことに感謝しています。吉田 ほとんどの事業がこれまでのやり方でできなくなってしまうので、人を集めることができないので、会議さえも開けない状況に陥りました。さまざまな意見がある中で、学校行事などの事業をやるのか、やらないのか、新型コロナウィルスの感染拡大状況が読めない中で、さまざまな判断に迫られました。

市長 皆さんから「これまで経験したことのない」「今までやってきたことができなかった」とのお話しが出ました。まさに感染拡大により、市民の皆さんがこれまで当たり前に行ってきたことが当たり前に行けなくなる事態となり、皆さんの地域活動においても大変苦労されたことが分かりました。

また、自治組織および連合会の事業は全て中止となってしまうことが、感染防止対策の徹底を図った上で、事業を実施した自治組織も出始めています。箕輪 商工会事務局では、電話やメールでの相談対応や大人数の会議の回避、「在宅勤務取扱要綱」を制定しテレワークシステムを導入するなど、感染防止対策を徹底しました。また、コロナ禍の特例事業として、テイクアウトやデリバリーを行っているお店をチラシやホームページなどでPRする「頑張る商店応援団」を実施しました。「第9回福バル」はwithコロナをコンセプトとし、参加店舗には非接触式電子体温計を配付しました。吉田 ソーシャルディスタンス・検温・マスクなどの対策はもちろんですが、インターネットを活用した会議と事業を取り入れられました。最初の頃は、不慣れなため、さまざまなトラブルもありましたが、試行錯誤しながら、少しずつ動き出しました。



よしだ たけはる
吉田 武陽さん
ふじみ野市PTA
連合会会長

はらだ はるお
原田 晴男さん
ふじみ野市自治組織
連合会会長

たかはた ひろし
高畑 博 市長

こいずみ ふみえ
小泉 二三枝さん
ふじみ野市社会福祉
協議会会長

みのわ たかいちろう
箕輪 高一郎さん
ふじみ野市商工会会長

ウイズ 新春座談会 with コロナ どう向き合い どう乗り越える

毎年恒例の新春座談会もこととして10回目を迎えました。今回のテーマは「With^{ウィズ}コロナ どう向き合い どう乗り越える」です。さまざまな分野で活動している人の声を聴くため、市民を代表して自治組織、店舗・事業所、地域福祉、PTA活動を実践している皆さんにお越しいただきました。

市長 明けましておめでとうございませう。今回の新春座談会のテーマは「with^{ウィズ}コロナ どう向き合い どう乗り越える」です。新型コロナウィルス感染症の感染拡大を契機として、私たちの意識と生活は大きく変化しました。感染を予防しながら日常生活を送るwith^{ウィズ}コロナの時代。市民の皆さんが「新しい生活様式」をどのように取り入れて日常生活を送っているのか、さまざまな分野の地域活動でリーダーとして活躍されている皆さんのお話を伺い、新型コロナウィルス感染症と向き合いながら、安心して地域で生活していくための方策などを検討していきたいと思えます。

感染拡大の影響
小泉 毎年、社会福祉協議会が取り組んでいる新入学児童の皆さんから「これまで経験したことのない」「今までやってきたことができなかった」とのお話しが出ました。まさに感染拡大により、市民の皆さんがこれまで当たり前に行ってきたことが当たり前に行けなくなる事態となり、皆さんの地域活動においても大変苦労されたことが分かりました。

また、自治組織および連合会の事業は全て中止となってしまうことが、感染防止対策の徹底を図った上で、事業を実施した自治組織も出始めています。原田 新型コロナウィルス感染症は、私たちが経験したことのない理解がたいことでした。目の前のニュースでは大



一步進んでできることをやっていく。

オールふじみ野で

この難局を乗り越えていきたいと思います。

高畑 博 市長



市長 新型コロナウイルス感染症に関する国の動向をみても、感染対策と経済活動を同時に進めて行こうとする姿勢が見受けられます。皆さんの地域活動においても、感染防止対策を徹底した上で、人数制限や書面・リモートによる会議の開催など工夫して活動してこられたのが分かりました。

市でも、感染対策を徹底するとともに、感染状況などに応じた公共施設の段階的な利用制限の緩和をしたり、例年と場所を替えて「成人式」を実施することにしたたりして、「全て中止」から一歩進んで、状況を見つつ、できることをやっていこうというスタンスに変更してきました。感染対策と地域・経済活動を工夫して同時に行おうという姿勢が必要だと思っています。

意識や行動の変化

小泉 私個人のことになりましたが、起床しましたら、窓を全開にして換気をしていました。また、外出時には、バッグの中に消毒用アルコールを持ち歩き、自宅に戻った時には除菌スプレーを使うなどするようにになりました。なお、日頃からウォーキングをしています。必ずマスクを着用するようにしています。

原田 私自身、新型コロナウイルス感染症に関する意識や行動が変化したのは令和2年2月17日でした。福岡県で2000人余りの全国大会に参加した後、夜のパーティーでお酒をいただきました。この時はまだ感染拡大はしていませんでしたが、新型コロナウイルスのことが少し頭をよ



小泉 二三枝さん
市社会福祉協議会会長
「地域や人と人とのつながりを大切に、住みよい街づくりをしていきたいと考えています」

行動規範の徹底をもう少しみんなで頑張りましょう。

箕輪 商工会の運営としては、オンラインでの会議の開催や相談窓口の運営など、新しいスタイルを構築していきたいです。

今後の活動方針

ろですが、引き続き、気を引き締めて、基本的な対策の徹底と大人数や長時間に及ぶ飲食など「感染リスクが高まる『5つの場面』」などを意識した感染予防に努めることが重要だと考えています。

小泉 社会福祉協議会の活動としては、地域や人と人とのつながりを大切に、住みよい街づくりをしていきたいと考えています。オンラインを活用しての地域活動やおうち時間を活用してのボランティア活動などを広げていければと思います。

原田 コロナ対策に関する行動規範を徹底することで、何かが変わらと思っています。まずは、「家族が大事・地域が大事・みんなが大事」と考え、

重要課題である飲食店対策としては、with コロナ時代を正しく認識し、営業して

いかなければ社会的責任は果たせず、顧客に背を向けられることになりません。引き続き、会員への啓発活動を強化し、一過性ではなく伴走型の支援対策を講じていきたいと思

います。本会青年部が昨年6月に市内の学校などへ消毒液を配付させていただきましたが、市の産業振興はもとよりwith コロナ時代においていかに地域社会に貢献でき



吉田 武陽さん
市PTA連合会会長
「いま困っている人をできる限り多く助けられる活動を行っていきたく考えています」



原田 晴男さん
市自治組織連合会会長
「『家族が大事・地域が大事・みんなが大事』と考えると、もう少しみんなが頑張りましょう」

ぎりました。万が一自分自身に起きたらと、この日から「いっ・どこで・誰と会ったか」などを書き留めています。また、以前と比べると外出する機会が減るなど自身の生活スタイルが大きく変化してきました。

箕輪 部会などの会議終了後の飲食を伴う懇親会は自然と実施を控えています。商工会事務局としては過敏すぎるほどの感染対策を施しています。が、今では会員や来会者の理解が深まり、円滑にご協力をいただけるようになりました。

市内の飲食店においては、コロナ禍を受けて、新たにランチ営業を始めたたり、テイクアウトやデリバリーに力を入れたりするなど、それぞれの特性を活かした工夫が見られるようになったことは心強い

と想っています。同じ場所に集まらなくてもオンラインで会議や事業ができる。やったことのないものに挑戦をするのだから、失敗を恐れずにチャレンジしていこうという意識が強まりました。

市長 3月頃と今とでは、市民の皆さんの新型コロナウイルスに関する意識や行動は比べものにならないくらい大きく変わってきたと感じています。手洗い、手指消毒、マスクの着用などは既に皆さんの生活の一部となり、当たり前のこととなっています。今後は、ワクチンや治療薬の開発・普及が待たれるとこ

▼ソーシャルディスタンスの確保、飛沫防止パーティションの設置、換気などの対策を講じた上で実施しました



るのか、会員の結束と英知を結果していきたくです。

吉田 これからもっともっとインターネットを活用した面白いものが出てくると思います。インターネットでスポーツができる時代です。インターネットを使えば今までは比べ物にならない規模の事業ができます。ただ、通信環境が無い、使い方が分からない、他にもさまざまな理由で、インターネットを使わない、使えない人たちがいます。その層をどうやってカバーしていくかも非常に大切なことだと思っています。今困っている人を、

できる限り多く助けられる活動を行っていきたくと思っています。

市長 今日は、さまざまなお話をいただきました。ありがとうございました。私も何とか街の灯は消したくないと思っています。皆さんのご意見を参考に、これからも新型コロナウイルス感染症と向き合い、感染対策のさらなる徹底と経済社会活動の両立を図り、オールふじみ野で新型コロナウイルス感染症による難局を乗り越えていきたいと思